

ゲーム理論ワークショップ2015 プログラム

2015年3月6,7日(金,土)

会場：京都大学 吉田キャンパス（本部構内） 法経済学部本館第五教室

2015年3月6日(金)

9:30-9:40 岡田 章（一橋大学経済学研究科）

開会のあいさつ

特別セッション：「生物学とゲーム理論の接点」

司会：大槻 久（総合研究大学院大学先導科学研究科）・巖佐 庸（九州大学理学研究院）

9:40-9:45 大槻 久（総合研究大学院大学先導科学研究科）

イントロダクション

9:45-10:15 佐伯 晃一（総合研究大学院大学先導科学研究科）

ウイルスの接触感染の進化シミュレーション

10:15-10:45 入谷 亮介（九州大学システム生命科学府）

親から子への情報伝達が移動分散の進化ゲームに及ぼす効果：
包括適応度理論による解析

10:45-11:00 休憩 15分

11:00-11:30 川津 一隆（龍谷大学理工学部）

性の維持を巡るオス-メス間の進化ゲーム

11:30-12:00 伊藤 公一（京都大学生態学研究センター）

交渉ゲームにおける協力の意思決定様式の進化

昼食：12:00-13:30

セッション1 司会：守田 智（静岡大学工学研究科）

13:30-14:00 内之宮 光紀（九州大学システム生命科学府）

キクイムシと菌類の共生における垂直伝播形質の進化

14:00-14:30 安部 淳（神奈川大学）

Inexplicably Female-Biased Sex Ratios in *Melittobia* Wasps

14:30-15:00 中橋 渉（総合研究大学院大学先導科学研究科）

学習戦略と教示行動の遺伝子文化共進化

15:00-15:20 休憩 20分

セッション2 司会：中橋 渉（総合研究大学院大学先導科学研究科）

15:20–15:50 内海 邑（総合研究大学院大学先導科学研究科）
相利共生系での制裁の進化における多様性の役割

15:50–16:20 Marko Jusup（九州大学理学研究院）
Agent-based mapping of credit risk for sustainable microfinance

16:20–16:50 山口 幸（神奈川大学工学部）
ペア生活する生物における性機能分業：可塑性が適応進化を促進する

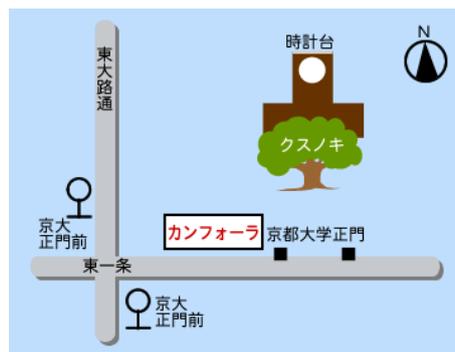
16:50–17:10 休憩 20 分

セッション3 司会：横尾 真（九州大学システム情報科学研究院）

17:10–17:40 吉良 洋輔（東京工業大学社会理工学研究科）
輪番制による協力成立の条件
繰り返し N 人ボランティア・ジレンマモデルの分析

17:40–18:10 岩崎 敦（電気通信大学情報システム学研究科）
Can local caution restore global tacit collusion?:
Repeated multimarket contact with observation errors

懇親会：18:30– 会場：カンフォーラ（京大正門を入れて左手の建物）



2015年3月7日(土)

セッション1 司会：平井 俊行（富山大学経済学部）

9:30–10:00 藤本 勝成（福島大学）

Relation between two notions, incentive to form the grand coalition
and no incentive to split from the grand coalition

10:00–10:30 大石 尊之（青森公立大学経済学部）

Duality and anti-duality for cooperative game theory
with economic applications

10:30–10:45 休憩 15分

セッション2 司会：神取 道宏（東京大学経済学研究科）

10:45–11:15 中田 里志（一橋大学経済学研究科）

Stable Matching and Indivisible Goods Trades
under Irrational Choice Behavior

11:15–11:45 丸谷 恭平（横浜国立大学経済学部）

Gaming the deferred acceptance when message spaces are restricted

11:45–12:15 白田 康洋（小樽商科大学商学部）

Evolution of group formation in multi-person ultimatum bargaining

昼食：12:15–13:30

セッション3 司会：梶井 厚志（京都大学経済研究所）

13:30–14:00 本多 純（ウィーン大学）

The Double Diamond Paradox

14:00–14:30 水本 祐輔（一橋大学経済学研究科）

Optimal Design of Communication Platforms

14:30–15:00 三浦 慎太郎（神奈川大学経済学部）

On the possibility of information transmission

15:00–15:20 休憩 20分

特別セッション：「国際関係論とゲーム理論の接点」

司会：鈴木 基史（京都大学法学研究科）

15:20–15:25 鈴木 基史（京都大学法学研究科）

イントロダクション

15:25–15:55 岩波 由香里（大阪市立大学経済学研究科）

平和維持活動における国連と地域的機構の不完備情報ゲーム

15:55–16:25 栗崎 周平（早稲田大学政治経済学術院）

A Signaling Game of Collective Self-Defense in the US-Japan Alliance

16:25–16:40 休憩 15 分

16:40–17:10 小浜 祥子（北海道大学法学研究院）

The Logic of Mass Destruction and Contamination:

A Political-Economic Approach

17:10–17:40 土井 翔平（京都大学法学研究科）

A Dynamic Model of Economic Interdependence and Crisis

この特別セッションは、科学研究費基盤 (A)「グローバルガバナンスの変容と国家政策の政治経済分析」(代表：京都大学 鈴木基史)との共催企画です。

- ゲーム理論ワークショップ 2015 は、科学研究費基盤 (A)「ゲーム理論の新展開：協力メカニズムの解明」(代表：一橋大学 岡田章)の研究活動の一環として開催されています。また、科学研究費基盤 (S)「持続可能な発展のための資源配分メカニズム設計理論の構築」(代表：九州大学 横尾真)と、京都大学経済研究所「若手研究者の国際的主導権強化支援事業」「プロジェクト研究 情報の経済学」からの援助を受けています。